あきのこと diary（ダイアリー）

Dear all everyone　⑫月号

安芸市役所
商工観光水産課
商工観光係
TEL：0887-35-1011
FAX：0887-35-8113
furusato-aki@city.aki.lg.jp

安芸市のホットな魅力を紹介しているこの「あきのことdiary」。制作しているのは安芸市出身の地域おこし協力隊の小松八月さんです。カメラやドローンを用いて風景や人・町の営みを撮影し、デザインに関する知識や技術を活かして安芸市の魅力を発信してくれています。

安芸市は皆さまからいただいたご寄附を地域内で循環させようと可能な限り外部へ委託せず、ふるさと納税業務に取り組んでいます。

安芸市の魅力や手作りの温かさを少しでも皆さまにお伝えできるように、来年もチーム安芸で頑張っていきますので、2023年も安芸市への応援をよろしくお願いします。

ふるさと納税担当
德廣

じまんのこと　だれかに言いたい！

- 錆と煤 満寿 kotobuki 店 -

（さび　すす　ことぶき）

１号店を開店するや高知県内だけにとどまらず、じわじわと日本中のインド・アジア料理、本格カレーの愛好家を魅了し、全国からファンが押し寄せる人気店”錆と煤”。店主である山田さんの祖父母が安芸市で営んでいた自転車店の場所を利用し、新たに今年２号店をオープンさせました。出店する土居地区は歴史情緒が香る閑静な城下町。しかし営業日になると、この店の味を求めて、訪れた人々の姿で通りが賑わいます。出店だけにとどまらず、安芸の街並みとアジア文化を楽しむイベントを開催するなど、山田さんの挑戦が、人々の笑顔と感動が生まれる場所を作り出し、時代を超えた賑わいの輪が少しづつこの町に広がっています。

ふるさといっぴん

今月の
おすすめ
返礼品

幻の地鶏

生産者：小松靖一さん
圭子さん

FURUSATOIPPIN

ここでしか食べられない！
多数のメディアで紹介され続ける幻の地鶏

ご当地鍋　土佐ジロー鍋セット

テレビ「満点☆青空レストラン」や漫画「美味しんぼ」など多数のメディアで紹介され続ける幻の地鶏「土佐ジロー」。 けれど、調理法で味わいが大きく変わってしまう繊細な鶏肉。ですが、ご家庭でも手軽に味わっていただきたいと誕生したのが、こちらの鍋セット。【名人】と呼ばれる小松靖一さん率いる「はたやま夢楽（むら）」からお届けします。高知県が誇る「土佐ジロー」ですがお肉を生産しているのは、ここ安芸市だけ！噛めば噛むほど、うま味が溢れる地鶏肉です。

寄附金額　　9,000円～